

地理歴史科（日本史探究）学習指導案

- 1 履修単位数 2 単位
2 実施日時 令和6（2024）年 月 日（ ） 第 時限
3 学級 ○○HR（選択者 名）
4 使用教科書 『詳説 日本史』（山川出版社）
5 単元名 幕府の衰退と庶民の台頭
6 単元設定の理由

〈生徒観〉

対象生徒は○○HRの日本史選択者である。日本史に関する興味・関心をもっており、授業に真剣に取り組むことができている。ペアワークやグループワークにも積極的に取り組み、他者と協働しながら歴史に対する見方・考え方を深めることができる素養をもっている。他方で、歴史事象を具体的に取り上げて、その事象がもつ多面性に気付いたり、その後の社会にどのような影響を与えたかなどについて時間をかけて考察したりする機会が少なく、主体的に考察する学びの充実が求められる。本単元では室町時代を取り上げ、様々な資料を活用するとともに、為政者だけではなく台頭する庶民の視点からの考察を加えることで、歴史の見方・考え方を深める授業を実践したい。

〈教材観〉

本単元では、室町幕府の衰退と庶民の台頭について考察する。貴族や寺社勢力を抑えながら京都を中心に成立した武家政権が、どのように衰退していったのかを幕府の諸政策や戦乱とともに考察する。また、幕府の衰退とともに庶民が力をつけ歴史の表舞台に登場する時代となり、諸産業の発展とも関連付けながらこの時代を取り扱い、生徒には多面的・多角的な視点から歴史を考察する力を身につけさせたいと考えている。

〈指導観〉

室町幕府の衰退と庶民の台頭について、基本的な事項を資料の読み取りを通して理解させたい。また、資料をペアやグループで読み取らせることによって理解を促進するとともに、他者の意見と自分の意見を比較させることで、多面的・多角的な視点を養いたい。特に、土一揆（徳政一揆）と徳政令の内容については、複数の資料を読み取らせることで、これまでの学習とのつながりや今後の社会的影響まで考察ができるよう留意する。

7 単元の目標

- ・庶民の活動が社会秩序変革の原動力として成長したことや、応仁の乱が室町幕府の支配体制にどのような影響を与えたかについて理解する。
- ・資料に基づいて、徳政一揆の背景と変容、室町幕府が発布した徳政令について多面的・多角的に考察し、適切に表現する。
- ・室町時代に成立した惣村の自治や諸産業の発達による流通や地域経済の成長などについて主体的に探究する態度を養う。

単元の基軸となる問い

どのように室町幕府は衰退し、庶民が台頭していったのだろう？

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
庶民の活動が社会秩序変革の原動力として成長したことや、応仁の乱が室町幕府の支配体制にどのような影響を与えたかについて理解している。	資料に基づいて、徳政一揆の背景と変容、室町幕府が発布した徳政令について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	室町時代に成立した惣村の自治や諸産業の発達による流通や地域経済の成長などについて主体的に探究しようとしている。

9. 指導計画 単元名 幕府の衰退と庶民の台頭 全4時間

第1時 惣村の形成【○態】【●思】

第2時 幕府の動搖と土一揆【思○】(本時2/4)

第3時 応仁の乱と国一揆【●態】【○知】

第4時 農業と商工業の発達【○知】【●知】

単元の指導計画 (○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時程	学習活動	知	思	態	評価規準等
第1時	どのように室町幕府は衰退し、庶民が台頭していったのだろう？				
	惣村の自治とはどのようなものであったのだろう？ ・惣村の成立背景とどのように自治が行われていたかについて考察する。 ・惣縦について、資料からその具体的な内容を読み取り表現する。	○	●	○	○惣村の成立背景を踏まえ、自治の内容について、主体的に考察している。(態) ●資料から惣縦について読み取り具体的に内容を説明している。(思)
第2時 (本時)	幕府の発布した徳政令はどのような影響を与えたのだろう？ ・提示された資料から、徳政一揆の内容と幕府の発布した徳政令について読み取り、徳政令がどのような影響をもたらしたのかを表現する。	○			○資料から読み取ったことや自分の考え、意見を適切に表現している。(思)
第3時	応仁の乱がもたらしたものとは何だったのだろう？ ・応仁の乱の背景と『真如堂縁起』にみえる足軽の出現と京都の荒廃などについて考察する。 ・応仁の乱が与えた様々な影響について、理解する。	○	●	○	●戦乱の背景と影響について主体的に考察している。(態) ○応仁の乱が与えた影響について、複数の観点から理解している。(知)

第 4 時	農業や商工業はどのように発達したか？			
	・農業の発達について理解する。	○	・三毛作の開始や下肥の利用など収穫の安定化が進んだことを理解している。(知)	・商工業の発達が貨幣経済の浸透をもたらすとともに、撰銭令の内容について理解している。(知)
	・商工業の発達とその影響について理解する。	●		

1.0 本時の指導目標

農民勢力を中心とした土一揆（徳政一揆）が蜂起した背景と幕府が発布した徳政令の影響について、資料に基づき多面的・多角的に考察する。

1.1 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入 10 分	どのように室町幕府は衰退し、庶民が台頭していったのだろう？ MQ. 幕府の発布した徳政令はどのような影響を与えたのだろう？			
10 分	・資料を読み取り、土倉がどのような存在であったのかを考察する。	・現代とのイメージの違いを強調する。		・タブレット (MetaMoJi ClassRoom)
展開 35 分	SQ. 幕府にとって土倉役・酒屋役はどのような意味を持っていたか？ ・資料から重要な財源であったことを理解する。	・御料所からの収入不足について説明する。		・タブレット (MetaMoJi ClassRoom)
	SQ. 幕府は徳政一揆に対してどのように対応したのか？ ・資料から幕府の対応について考察する。	・徳政令の発布はなかったことを説明する。		・タブレット (MetaMoJi ClassRoom)
	SQ. 徳政令の発布は土倉・酒屋と幕府の双方にどのような影響を与えたのか？ ・徳政令がもたらす影響について考察する。 ・分一徳政令について理解する。	・土倉・酒屋と幕府の観点から考察させる。 ・分一錢が財源となったことを理解させる。		・タブレット (MetaMoJi ClassRoom)
	・幕府の発布した徳政令はどのような影響を与えたのかについて、学習内容を振		・徳政令の影響を踏まえて、自分なりに考えをまとめている。(思)	

	り返り記述する。		
	・徳政令の変質について理解する。	・次の授業（応仁の乱）とのつながりを理解させる。	

1.2 評価の目安と目標のための手立て

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	本時の学習内容をもとに、徳政令とその影響について、資料から読み取った社会状況の変化との関連を踏まえながら、幕府の財源の変化と背景を順序立てて記述することができる。
B	おおむね満足できる	本時の学習内容をもとに、徳政令とその影響について幕府の財源の変化と背景を記述することができる。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	机間指導を行い、生徒の記述状況を確認する。その際、徳政令前後の幕府の主要な財源に着目するよう助言を与える。